

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	ブナの里山村活性化推進協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和元年度)
2. 取組振興山村名	黒松内町	令和元年度	令和3年度	令和元年5月27日～令和2年3月31日
3. 事業費(うち国費)	7,947,317円(7,881,898円)			
4. 第三者氏名	株式会社コムズワーク代表取締役/農業生産法人コムズファーム代表取締役 竹ノ内 久			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント)		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	○関係者間の積極的な連携により事業展開がなされ、特産品開発が進められたことで、計画目標の達成に繋がったものと推察される。 ○2年目、3年目については、ブランディング、プロモーションと戦略性の必要な展開に入ってくることから、関係者間及び専門家との連携を密に、目標数値達成に向けて意欲的に取り組んでいただきたいと考える。 ○①から④の実施結果から、A評価とする。		
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	○事業初期に市場のニーズを把握した上で、商品開発とブランド戦略構築に取り組んでおり、目標達成に資する取り組みが行われていたと評価される。 ○計画していた先進地視察が、実施直前で新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止となってしまったが、次年度以降の計画の中での実施を検討してもらいたい。		
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	○初年度の目標として掲げた特産品開発数1個、新特産品の販売額15万円、雇用数2人の3つの目標は全て達成しており、評価に値する。 ○商品化までは至らなかったものの、商品化の一手前までこぎつけた新商品もあることから、初年度の事業成果を活かし継続的に取り組み、魅力の高い商品化へと繋げていただきたい。		
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)	○協議会、ワーキング会議の開催のほか、SNSツールを使用した効率的なワーキングメンバー間の情報共有により、迅速かつ密な連携体制が組まれたことで、商品開発及びブランド構築に向けた高い取り組み意欲の醸成のもと事業が実施されている。新型コロナウイルス感染症状況下においても、取り組み体制は十分機能したことは評価に値する。		
④ その他				
○初年度より予定していたキッチンカーによるテストマーケティングについては、車両の導入課題により見送られたが、次年度以降の展開の中での成果に期待する。				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。